

## しれとこ100平方メートル運動地 (斜里町)



運動地では本格的な森づくりが続けられている

## 日本のナショナル・トラスト運動の先駆け

1977年、斜里町は、英国のナショナル・トラスト運動に着目し、かつて乱開発の危機にあった知床国立公園内の開拓跡地を保全し、原生林の再生を目指す取り組みとして、しれとこ100平方メートル運動を開始した。「しれとこで夢を買いませんか」をキャッチフレーズに展開されたこの運動により、自然保護に関心を持つ多くの人々から賛同が得られ、全国から寄附金が寄せられた。2010年には保全対象地全ての土地の買い取りを完了し、運動で取得した土地と元々の町有地を合わせた約861ヘクタールが後世へと引き継がれることとなった。

しれとこ100平方メートル運動地は、日本のナショナル・トラスト運動の先駆けとして歴史的意義を持つ象徴的な土地であるとともに、森づくりの継続的な取り組みが多様性に富んだ生態系の再生に貢献している。



しれとこ100平方メートル運動地



森づくりのためのササ地の掻き起こし

## 概要

名称	しれとこ100平方メートル運動地
所在地	斜里町
管理者	斜里町
規模	861ha
種別等	自然公園 (知床国立公園)
指定年	1964年 (昭和39年)
保全活動開始	1977年 (昭和52年)
2005年 (平成17年)、知床は世界自然遺産に登録される	